

手足口病に注意！

◆ 手足口病とは

- 主にエンテロウイルスによって引き起こされる感染症で、感染経路は飛沫感染、接触感染、経口感染と、様々です。
- 感染すると、3～5日間の潜伏期間を経て、手や足、口の粘膜に水疱性の発疹が出現し、通常3～7日間ほどで消失します。また、軽度の発熱（38℃以下）が見られることもあります。
- 5歳以下の乳幼児がかかりやすい感染症で、主に夏に流行します。



◆ 手足口病にかかったら

- 特別な治療法はなく、症状を楽にする方法（対症療法）が行われます。
- 口の中に水疱ができるため、食事や水分がとりにくくなり、脱水症状を起こすことがあります。柔らかく刺激の少ないものを摂取しましょう。

◆ 予防のポイント

◎しっかりと手を洗うことが大切です！

- トイレやおむつ交換の後、調理や食事の前には、十分に手を洗いましょう。
- 症状がなくなっても、しばらくは便の中にウイルスが排出されます。おむつ交換等、排泄物の処理をする際は、使い捨て手袋やマスクを着用しましょう。

